



「色覚異常を考える」

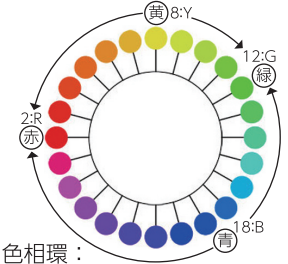
視覚の中で、色覚は色を識別する感覚であり、視力に負けず劣らず大事な感覚です。学校保健法の改正に伴い学校で色覚検査を実施しなくなっている今年で10年が経ちます。また就職時にも検査の義務はなくなりまし

た。日本人男性の5%、女性の0.2%に色覚異常が存在します。自分の色覚が他人と違つと日常生活でどのように影響するでしょうか。色覚は成長の過程で、個々の経験に基づいて学習、獲得するものです。幼少時や学童期に両親が子供の色覚に気付くなら、はっきりとした色覚異常があると考えるべきです

が、軽度異常なら気付かないことも多いのです。色を順番に円弧状に並べた色相環(図)を用いて、正常者との色覚の差を説明します。赤と緑を軸にして青と黄を対比させると赤一黄一緑、赤一青一緑の二つの円弧が出来ます。これらの円弧の長さを色の識別能力と考えると色覚異常者は円弧の長さが極端に短く、円弧に並んだ隣り合う色が重なって、どれもよく似た色に見えてしまう

のです。即ち、赤と緑、オレンジと黄緑、緑と茶、青と紫、ピンクと水色などは色誤認を起こします。他人との色覚の違いに気付けば、対策を考えます。色誤認が起こりやすいのは、対象となるものの大きさが小さい、彩度が低い、照明が暗い、疲れている時です。こういう悪条件で仕事をすることを出来るだけ避ける、また日頃から色以外の情報で物事を判断する習慣を付けることです。色覚に関しても、正常者が識別する色と対比させて独自の色感覚を磨いておく必要があります。色覚検査には何種類ありますが、異常を判定するためではなく、自分の色覚を確認するため、進学や就職の機会に何度でも受けたらよいと思います。(院長 伊田 宜史)

よく似た色に見えてしまう



色相環：日本色彩研究所配色体系より



伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	△	△	△	△
18:30	○	○	○	○	○	○	△

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

